

第12回厚田区地域協議会〈情報発信〉をテーマにした協議 「委員意見まとめ」

【住みやすいところ】

- ・札幌に近い（大消費地が近いので商売しやすい）
- ・通勤圏内（車があると）
- ・適度な田舎
- ・自然がある（海、山、川など）
- ・景色がいい（夕日など）
- ・おいしい食材（米、野菜、豚、魚、山菜など）
- ・厚田学園
- ・人が良い（受け入れてくれるまち）

【住みづらいところ】

- ・交通の便が悪い（中央バスのみで、本数が少ない）
- ・仕事が少ない
- ・車が無いと不便
- ・高校は通学できるが、部活動すると親の負担になる（迎え）
- ・吹雪が大変

【欲しい情報】

- ・仕事や住宅など、衣食住に関する情報
（賃貸、空き家など）
- ・どんな生活ができるのか、ニーズにあった情報
- ・いいところだけではなく、不便なところも

【移住・定住へのアイデア】

- ・家具や電化製品を完備した、気軽にお試し移住が出来る住宅（それぞれの地域にあればよい）
- ・移住者への支援（厚真町の支援策など）
- ・移住となると最初からハードルが上がる面もあるので、関係人口としてゆるやかに繋げていく
- ・厚田は札幌の通勤圏域である（市役所付近に車を止めて、そこから中央バス、地下鉄など乗り継いで通勤）

【参考】これまでの地域協議会の運営に関する意見

情報発信

- ・地域目線と遊びに来る人の目線で考えることが必要→マーケティング不足では？※何採れる？いつ採れる？どこで買う？どう食べる？等の情報が区内外で不足と感じる
- ・ファーストタッチが不足（重要）
- ・厚田の良いところを広めることが必要
- ・厚田の楽しいこと、生活の様子を発信
- ・外向けの情報が多く区内への情報発信も力を入れるべき
- ・SNS等で情報発信必要

協議会について

- ・意見が言いづらい（自ら情報収集やイベントに参加していないのも原因…）
- ・協議会の場は情報収集になる
- ・地域を良くしたいという思いや取り組みを議論する場

子どもに関すること

- ・子どもの遊び場・居場所が少ない
- ・近所に行き場が欲しい
- ・地域間での子どもの交流
- ・厚田学園の子どもを増やす取り組み必要
- ・家族の住む「住宅」や「仕事」必要
- ・子どもを増やすためにも外から移住してほしい

厚田の現状とイメージ

- ・厚田は環境が良い
- ・高齢化が進んでいる
- ・冬は厳しい。通行止め多い
- ・冬は生活が大変
- ・商店街が寂しい

移住・定住

- ・新しい仲間が欲しい
- ・外から見ても楽しいような農場にしたい
- ・子どもを増やすためにも外から移住してほしい
- ・家族の住む「住宅」や「仕事」必要外から移住してほしい
- ・厚田の生活を知ってもらうため宿泊受け入れ、SNS情報発信→厚田のたくさんの人に取り組みしてほしい

集落支援員制度

- ・集落支援員に期待
- ・支え合いのまちカンパニーの実現
- ・住民アンケート結果から取り組みを絞り込み、住み良いまちづくりを
- ・高齢者の足・交通が課題であり解決に向け動くべき

その他の意見

- ・これまで地元当たり前のように住んでいて特に考えることがなかった
- ・冬のイベントで盛り上げたい
- ・日頃から常に思いついた発想をメモして整理して発言に繋げる僕の、私の理想の厚田を皆で考えてみては